

特別寄稿

利神城跡を国指定に！

国指定文化財(史跡)への取り組み

佐用町教育長 平田 秀三氏

はじめに

利神城跡は、昭和58年に山城の一部が町指定史跡となり、早くから国指定史跡の候補とされながら、具体的な取組みにはつながりませんでした。

ところが、近年のお城ブームや、平成24年に河川改修で御殿屋敷跡の一部が発掘調査され、説明会に300人が町内外から参加されるなど注目を浴び、利神城跡を再び国指定へとという機運が高まってきました。

教育委員会では平成26年度に、山城部の主要地権者に利神城跡等の国指定へ向けた事務を進める行為同意を得て、町の政策決定会議等を経て、本格的に利神城跡の保存と整備に向けて事業を進めることとなりました。

これには、長谷・平福両地域の自治会長、地域づくり協議会等のご協力を得て、地域とともに国指定を目指すこととなり、平成27年度から「利神城跡等国指定推進事業」を実施することとなりました。

これまでの事業内容

この推進事業では、国指定に必要な提出書類を揃えるため、次のような事業を行っています。

- ①専門家による「利神城跡等調査委員会」を設置して、利神城跡に関する文献や城郭遺構の調査と報告書執筆をしていただきました。
- ②最新の航空レーザ計測技術を利用して、木々に覆われた利神城山の地形を調査し赤色立体図を作成しました。
- ③良好な史跡環境を維持するために樹木伐採・草刈を行いました。
- ④平

成28年2月13日に調査成果報告会として調査事業の中間報告会を文化情報センター大ホールで開催しました。県外を含む約200名の方が熱心に聴講され、関心の高さがうかがえました。そのほか、利神城跡を遠望できる天文台公園に看板設置などを行っています。

上記の事業を進めるにあたって、樹木伐採等については、関係土地の所有者の方への説明と行為同意を得て実施したほか、平成27年10月27・28日には、平福・長谷両地域の方への事業説明会を開催しております。

今回は第一次指定として、近世に入って利神城が石垣造りの城に大改修された部分を対象に、利神山上に残る山城部分とその西側山麓の御殿屋敷跡部分(平福駅より北側の範囲)を合わせた約864,000㎡の範囲です。対象筆数は335筆、関係する所有者、相続人等の数は258人に及びます。

近世初期の城郭として、山城と山麓居館がセットで、しかも石垣等の遺構が良好に残る利神城の価値を保護・活用していくために必要な範囲です。

意見具申

次に、指定に向けた事務としては文化庁へ提出する意見具申書を準備してきました。とりわけ重要なのが、指定区域258名(法人)におよぶ

指定範囲

今回は第一次指定として、近世に入って利神城が石垣造

所有者等の指定同意を得ることとした。

平成28年9月16・20日には、平福・長谷地区で所有者等の方を対象に説明会を開催するとともに、それぞれの同意書については、両地域の利神城跡等国指定推進会議の皆様のご協力で大半の同意を得ることができました。所有者の方からは国指定になり地域の発展を望むという声も伺っております。

このように、地域の皆様、所有者の皆様のご理解とご協力を得て厚さ10cmの書類を準備し、1月末には文化庁へ提出することができました。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

指定はスタート地点 保存と活用

国指定の手続き・指定は文化庁に委ねることになります。が、国指定が実現した後はどうでしょうか。国として将来にわたって保護すべき文化財となり、当然、町や地元の方々がともに守り伝えていく努力をしてゆかなければなりません。このため、保存・活用計画や整備基本計画を策定したうえで、長期にわたり循環的に調査、整備、保全、活用等を行っていく必要があります。

指定されると、利神城跡は全国区の史跡として注目度は上がることでしょう。同時に佐用町に訪れる方も増えることを期待するところですが、皆様とともに一層「協働のまちづくり」が推進されますようご折念申上げ、ご協力のお礼とご報告とさせていただきます。



2016.12.18 天文台公園からの遠望



新春歩こう会

十 防災講習会

新年恒例の新春歩こう会・防災講習会が、1月8日(日)に行われました。しかし、あいにくの天気により歩こう会は中止となり、防災講習会のみとなりました。参加された方は3班に分かれ、真剣に消防署員の話の聞きました。AEDによる蘇生講習、消火器の使用法、そして地震車による地震体験については、実際に地震が起きた時の対応を体で学ぶ事ができ、改めて地震の恐ろしさと、日頃からの備えの必要さを考えさせられました。講習会後は、温かい豚汁をいただき、ビンゴ大会で盛り上がりました。



しめ縄づくり講習会

年の瀬の前に、平福地域づくり協議会主催の恒例行事として長年続いているしめ縄づくり講習会が、12月18日(日)に平福体育館で開催されました。

講習会には約60名の参加がありました。もち葉や柚子など地域の方のご協力で提供していただき、材料・道具も充実しており、講師の説明を聞きながら初心者でも安全に簡単に作る事ができます。参加者の中には手際よく何個も作られている方や、自己流に形を変えてみたり、大きいものを作られたりと様々で、立派なしめ縄ができました。

近年は参加者も少しずつ減少しているように思います。ご多用の時期ではありますが、来年度も開催される講習会には未経験の方は是非参加していただき、自分の作ったしめ縄を飾り新年を迎えましょう。宜しくお願致します。



防災・人権

出前講座

10月23日(日)に高年大学「防災・人権出前講座」を地域福祉センターで開催しました。今回は、専門家の間でも地震の発生確率が高いと言われている山崎断層が近くを通っていること、また、各地で地震が発生し大きな被害が出ていることから、地震への備えと、初期対応について学習しました。

第1部として、町企画防災課 長久保正彦氏による「いつか来る地震災害に備えて」の講演を、映像や発生時の身を守る行動としてのシイクアウト訓練も取り入れながら解かりやすくお話をいただきました。

第2部は、地震発生時の自助・共助について町職員と地域役員出演の防災寸劇を行いました。映像や小道具を使いながら真剣な中にもユーモアな演技もあり熱演が披露され大きな拍手をいただきました。

この講座を通じ「自分の命は自分で守る」「自分達の地域はみんなを守る」という意識を更に強く持っていただいたものと思います。



お知らせ

「ご意見箱」について

前号にてご紹介しました、道の駅ひらふくインフォメーション内の「ご意見箱」。昨年10月に設置して5か月が経過したところですが、既に100通を超えるご意見を頂戴しております。本当にありがとうございます。

町並みやその保全活動をお褒めいただいたり、活気がない・何か特徴のある工夫が必要なのでは?といった厳しいご意見や、景観・町並み・川端風景・利神城跡に関するご要望など、様々なご意見を頂きました。地域づくり協議会ではこれら貴重なご意見を、これからの地域づくりに活かしていきたいと考えております。なお、その内容詳細につきましては、次号以降でご紹介する予定です。

また、ご意見箱は引き続き設置しておりますので、どうぞお寄せください。よろしくお願い致します。